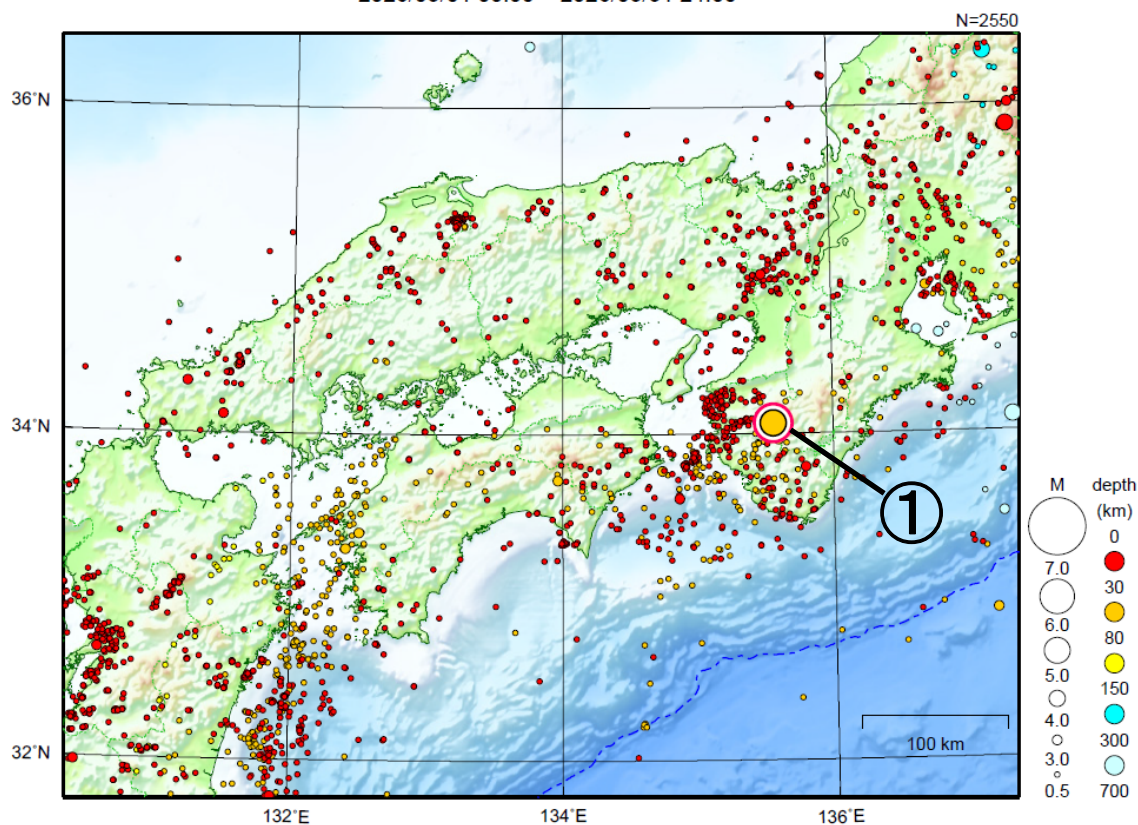


近畿・中国・四国地方

2026/05/01 00:00 ~ 2026/05/31 24:00



地形データは日本海洋データセンターの J-EGG500、米国地質調査所の GTOP030 及び米国国立地球物理データセンターの ETOPO2v2 を使用

① 5月2日に和歌山県南部で M5.8 の地震(最大震度 4)が発生した。

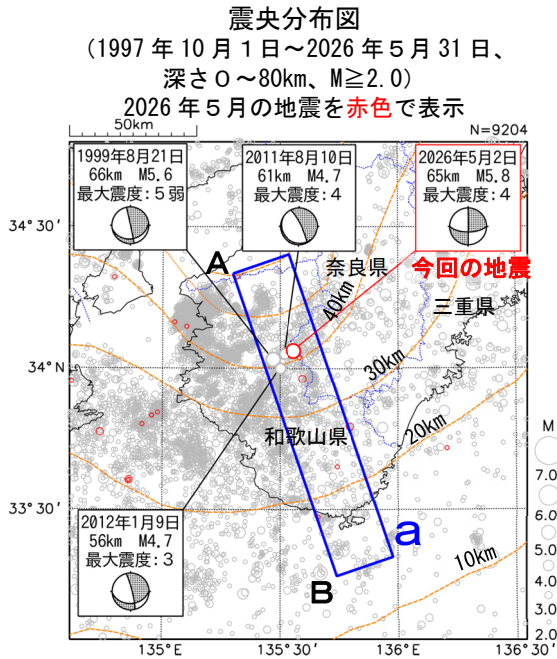
情報発表に用いた震央地名は〔奈良県〕である。

[上述の地震は M6.0 以上または最大震度 4 以上、陸域で M4.5 以上かつ最大震度 3 以上、海域で M5.0 以上かつ最大震度 3 以上、その他、注目すべき活動のいずれかに該当する地震。]

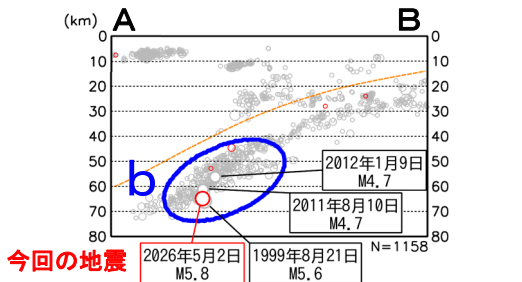
気象庁・文部科学省

5月2日 和歌山県南部の地震

情報発表に用いた震央地名は〔奈良県〕である。

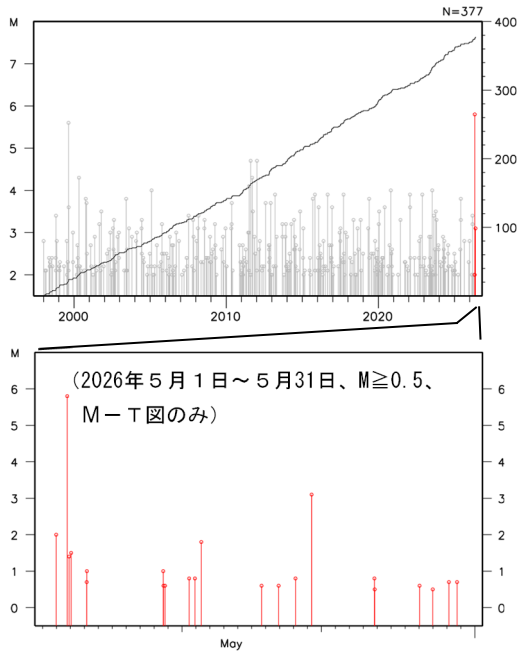


領域 a 内の断面図 (A-B 投影)



橙色の破線は、Baba et al. (2002)、Hirose et al. (2008)、Nakajima and Hasegawa (2007)によるフィリピン海プレート上面のおおよその深さを示す。

領域 b 内の M-T 図及び回数積算図

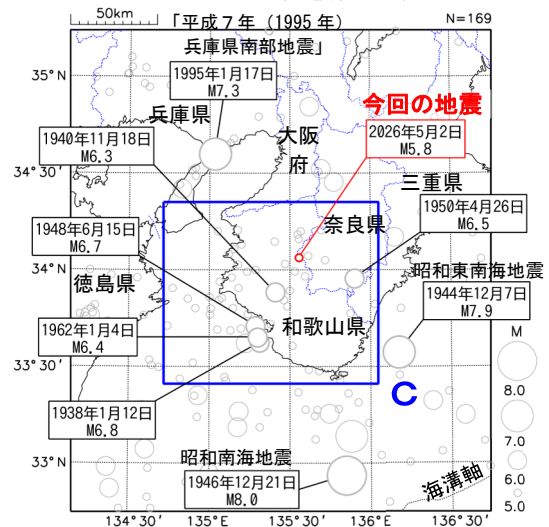


2026年5月2日18時28分に和歌山県南部の深さ65kmでM5.8の地震(最大震度4)が発生した。この地震は、フィリピン海プレート内部で発生した。発震機構は、北東-南西方向に張力軸を持つ横ずれ断層型である。

1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近(領域b)では、M4.0以上の地震が時々発生しており、M5.0以上の地震は今回を含めて2回発生している。1999年8月21日のM5.6の地震では、最大震度5弱を観測した。

1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺(領域c)では、1960年代にかけてM6.0以上の地震が時々発生していた。このうち、1948年6月15日に発生したM6.7の地震では、死者2人、負傷者33人、家屋倒壊60棟などの被害が生じた(被害は「日本被害地震総覧」による)。

震央分布図
 (1919年1月1日～2026年5月31日、
 深さ0～100km、M \geq 5.0)
 2026年5月の地震を赤色で表示



領域 c 内の M-T 図

